

「科学 Try アングル岡山」 行事等 報告書

行事名	第 4 回理科教育研修講演会		
担当部門・機関	理科教育支援部門・岡山理科大学		
開催日時・期間	平成 21 年 12 月 5 日 (土) 14 : 00 ~ 15 : 30	会場	岡山理科大学 25 号館 4 階 22544 講義室
<p>《概要》</p> <p>学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえて物理教育への期待についての講演会 講演テーマ:「物理教育への期待—学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえて」</p>			
<p>《参加者》</p> <p>講師:・文部科学省初等中等教育局教育課程課・教科調査官(教育政策研究所教育課程調査官) 清原 洋一氏</p> <p>参加者:116 名(教育関係者:26 名、大学生・大学院生:59 名)</p>			
<p>《報告事項》</p> <p>講演会では、まず、今回の学習指導要領改訂の経緯の説明とその基本的な考え方として「生きる力という理念の共有」、基本的な知識・技能の習得、確かな学力確率のための時間数の確保、指導の充実などがあり、改正教育基本法、その中の「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する」、「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する」態度を養う、などの項目を踏まえたものであり、教育内容の主な改善事項は、言語活動の充実、理数教育の充実、体験活動の充実、環境教育などであることが示された。</p> <p>つぎに、理科教育における課題として、児童・生徒の理科学習に対する意識の問題、自然体験などの不足、国民の科学に対する関心の低さ、基礎的な知識・理解および科学的な思考力や表現力の不足などがあることが指摘され、これらの問題に対処するための「理科」改定の基本的な考え方が、物理教育の場合を例にとりて説明された。</p> <p>さらに、このような考え方による高校理科の科目構成の改訂に詳しい紹介があり、これらと高校から中学校に移行した主な内容との関係、基本的な概念や探究方法を学習する基礎科目と選択項目を整理、必修化し、内容を充実させた科目に分け、理科課題研究を科目として位置づけ、探究的な学習を推進することなどが示された。この理科課題研究においては先端科学や学際的領域に関する研究が追加され、理数科においてはすべての生徒に履修させることとした。物理教育の例では、科学的な見方や概念の定着、科学的な思考力・表現力の育成、実社会とのつながり、興味、関心、有用性などが重視されていることが示された。</p>			



写真 1 講演会における波田善夫・岡山理科大学
学長挨拶。



写真2 清原洋一・国立教育政策研究所
教育課程調査官の講演。



写真3 参加者の中で教職志望学生は講演を
熱心に聞き入っていた。

□アンケート結果

●講演内容は分かりやすかったですか？

- 1.非常に分かりやすかった 30名
- 2.やや分かりやすかった 43名
- 3.どちらでもない 9名
- 4.どちらかと言うと分かりにくかった 0名
- 5.分かりにくかった 1名

●講演内容は参考になりましたか？

- 1.非常に参考になった 30名
- 2.やや参考になった 43名
- 3.どちらでもない 9名
- 4.どちらかと参考にならなかった 0名
- 5.全く、参考にならなかった 1名